



台風12号襲来 市内各所に爪あと

①

9月3日に四国地方を通過した台風12号は、西日本を中心として全国に甚大な被害をもたらしました。

西条市では、災害対策本部を設置し、市内8地区の495世帯・1120人に避難勧告を発令するなど、情報の収集と被害の軽減に努めました。

しかし、9月2日から3日までの総雨量が、黒瀬ダムで657ミリを超えるなど、記録的な大雨となったことから、主要地方道西条久万線の崩落や一般県道落合

久万線への土砂流入により、大保木地区および明河地区が孤立する事態となりました。

市では食料などを搬送するとともに、保健師を派遣して健康相談や健康指導に当たるなど、孤立した地区にお住まいの皆さんの不安解消を最優先に取り組みました。

今後は一日も早く被害個所を復旧し、皆さんが安心して暮らせるよう取り組んでまいります。



被害状況と復旧に向けて

【写真】①大保木柳谷の土石流と流木②主要地方道西条久万線の崩落③一般県道落合久万線の土砂崩れ④明河地区の土砂崩れ現場を視察する伊藤市長⑤保健師による巡回訪問⑥集会所へ食料などを搬送⑦放流する黒瀬ダム⑧禎瑞地区の船だまりへ流入した流木⑨冠水した市道福成寺美報寺線のJRガード下



台風12号に備えて

(これらは一例です。実情に合わせてご家族で話し合い備えましょう)

日ごろからの備え

- 家族で避難場所や緊急時の連絡先を確認しておく
- 非常用持ち出し袋を準備しておく
- 屋根や外壁、テレビアンテナの補強をしておく
- 側溝や排水口を掃除して水はけを良くしておく

台風が接近したら

- 河川や海、山など危険な場所には近づかない
- テレビやラジオなどで台風情報を確認する
- 懐中電灯や携帯ラジオなどを身近な場所に用意する
- 避難の勧告や指示ですばやく避難できるようにしておく